

株主優待制度のご案内

当社株式をご所有の株主の皆様に、全国の当社店舗でご利用いただけます商品引換券を贈呈させていただきます。

所有株式数	当社商品引換券
100株以上1,000株未満	1,000円
1,000株以上5,000株未満	5,000円
5,000株以上	10,000円

さらに定時株主総会の招集通知に同封します専用ハガキによる応募抽選で、大相撲9月場所観席券(食事付、4名まで可)を2名の方に贈呈いたします。

株主メモ

- 決算期日 毎年2月末日
- 株主総会 1. 定時株主総会は、毎年5月に開催いたします。
2. 臨時株主総会は、必要あるときに随時開催いたします。
- 名義書換代理人 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 03-5683-5111
- 同取次所 UFJ信託銀行株式会社全国本支店
野村證券株式会社本店および全国各支店
- 公告掲載新聞 日本経済新聞

株式会社 ポイント

〒130-0026 東京都墨田区両国3-21-1 グレイスビル両国

URL <http://www.point.co.jp>

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに第54期事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。



株式会社 ポイント
代表取締役会長 福田 三千男
代表取締役社長 黒田 博

2004年2月、東京証券取引所市場第一部に上場し、企業基盤のさらなる強化を図りました。

当社は、1953年株式会社福田屋洋服店として発足し、1973年にカジュアル小売業に進出しました。1984年以降、チェーン・オペレーションのもと複数ブランドの多店舗化を全国に進める一方、1996年からは

ストアブランド商品開発を進め、2002年8月にはストアブランド比率を95%とし、ナショナルブランド品揃え店から自社のストアブランドを販売するSPA（製造小売り）型専門店チェーンへの脱皮宣言。わが国の衣料小売業における、先駆的な企業としてご評価いただくようになりました。

また一方、企業力強化に努め、2000年12月の日本証券業協会への株式店頭公開を皮切りに、2002年12月には東京証券取引所市場第二部へ、本年2月には東京証券取引所市場第一部へ上場し、順調に企業基盤の強化を図ることができました。

お客様はじめ、株主様、お取引先の皆様、社員への深い感謝と、今後への決意と責任を新たに重く感じております。

中期3カ年計画の1年目を順調に終了し、売上高、利益高ともに創業以来最高の数字を達成しました。

2003年2月、2004年2月期から2006年2月期にいたる中期経営計画を策定し発表しました。その骨子は、ローリーズファーム、グローバルワーク、ジーナシスの主要3ブランドの確立による成長を通じた安定化と既

存ブランド育成による次期成長への準備、スケールメリットを生かした値入率向上による利益率向上です。

その1年目にあたる当期は、売上高において、主要ブランドのローリーズファームが148億円（前期比32.9%増）、グローバルワークが66億円（前期比49.4%増）、今後の発展のためのブランドであるジーナシス、レイジブルー、ヘザーも順調に成長し、総売上高は276億円（前期比33.6%増）となりました。これは当初計画252億円を9.5%上回るもので、中期経営計画達成に向けてしっかりした手ごたえを感じるものでした。

また、売上総利益率が57.9%（前期比1.2%向上）と向上したことにより、経常利益高は42億円（前期比52.0%増）、経常利益率は前期の13.5%を大きく上回る15.3%とし、中期経営計画目標を達成しました。

以上、中期経営計画初年度として順調な滑り出しの年であったことをご報告申し上げます。

台湾にローリーズファームを7店舗出店いたしました。

日本国内での自社競合を避けながらブランド戦略を海外にまで推し進め発展を続けるため、2002年12月、台湾・台北市に100%出資の子会社、波茵特股份有限公司（POINT TW INC.）を設立、2003年3月のローリーズファームの出店（台北市）をスタートとして、当期は合計7カ所に直営店を出店いたしました。

各店は、SARS、政情不安などにもかかわらず順調に売上を伸ばし、店舗段階での黒字を確保しました。今後の発展に向け、派遣人員増加、情報システム見直しなどで本部費を増加させたため、最終的には約1,500万円の欠損となりましたが、来期は既存7店舗の通期稼働、新規3店舗の追加による売上高・利益高増加により、黒字化する予定でおります。

中期経営計画を支える物流機能を確保しました。

今後の業務拡大により増加するであろう商品量への対応と商品配送のリードタイム

短縮による売上高・資金効率向上を目的に、従来の水戸物流センターに加え、福岡物流センターを2002年9月に設立し、当期は大阪以西を担当して本格稼働しました。その結果、西日本の既存店では販売機会ロスが減少し、売上高前期比は東日本のそれを2.9%上回りました。

また、12月には水戸物流センターにソーターシステムを導入しました。処理効率向上、トータルコスト削減において、来期以降の本格稼働による効果を見込んでおります。

今後もいっそうのご支援をお願い申し上げます。

各ブランドの育成・強化をさらに推し進め、魅力あるファッション提案を通じて、個性的な価格帯、ブランド、業態によるSPA型専門店チェーンとして積極的に出店を進めることにより、豊かな暮らしの実現に貢献し、成長する小売企業としての発展に努める所存でございます。

皆様におかれましては、今後ともいっそうのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

当期のポイント

〈当期のポイント①〉
積極的な出店の継続により
期末の国内店舗数は、
198店になりました。

3p

〈当期のポイント②〉
増床・改装による
既存店の活性化を
推進いたしました。

5p

〈当期のポイント③〉
タイムリーな商品投入、
物流機能の強化などにより
在庫が減少しました。

6p

〈当期のポイント④〉
グローバルブランド化に向け
台湾へ出店しました。

6p

来期のポイント

基幹ブランドの育成、
既存店の活性化、
グローバル化の推進を
さらに強化します。

7p

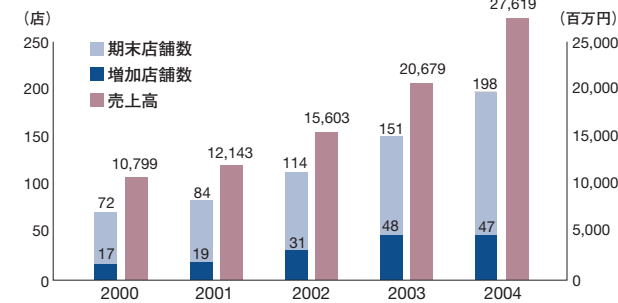
〈当期のポイント①〉

積極的な出店の継続により期末の国内店舗数は、198店になりました。

積極的な出店、および迅速な退店の実施

当期におきましては、グローバルワークの24店舗を筆頭に60店舗を新規出店いたしました。これら新規店舗は、売上計画比で16%増と順調に推移し、全体の業績に貢献しております。またエヌフィロ業態を休止したことや、商環境への変化対応による退店も13店舗実施し、期末国内店舗数は198店舗（前期末比47店舗増）となっております。今後も適切な出店候補地の選定と、既存店舗を取り巻く環境の変化に、迅速に対応してまいります。

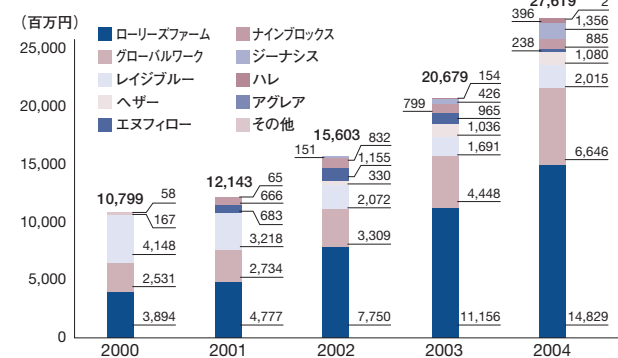
店舗数の推移と売上高 [単体]



基幹ブランドが着実に成長

中期経営計画において、基幹ブランドとして育成する計画のローリーズファーム、グローバルワーク、ジーナシスの各ブランドにおいては、それぞれ12店舗、24店舗、11店舗の新規出店を実施し、基幹ブランドによる安定成長の基盤づくりを推進いたしました。これら3ブランドの他にヘザーおよびレイジブルーにおいても、売上高前期比でそれぞれ4.2%、19.2%の増加と順調に推移し、拡大成長できるブランドとしての可能性が生まれております。

ブランド別売上高 [国内]



店舗情報



ヘザー
セレナ店

Heather

大阪の南の玄関口、天王寺のターミナルビルに位置し、近鉄、JR、地下鉄から直接アクセスが可能です。約30坪のゆとりある広さと、百貨店と隣接するファッションビルという立地を活かし、幅広いお客様にご利用いただくことで、ヘザーの新しい可能性を広げています。



ローリーズファーム
太田店

LOWRYS
FARM

ダウンタウン立地のファッションビルを中心に展開するローリーズファームの新しいマーケットとして、郊外型のショッピングセンターへの出店が始まっています。北関東最大級の規模を誇るイオン太田SCにおいて、より広いお客様層へ、ローリーズスタイルを提案します。



グローバルワーク
ダイヤモンドシティ・ハナ店

GLOBAL WORK

古都京都にあって町の喧騒から離れた住宅地に現れた巨大SC。140の専門店に加え、食品の充実も勿論、ベビーベッド完備のお手洗い等、ファミリーに優しいダイヤモンドシティで、グローバルワークならではのより楽しい普段着を提案し、ご家族の休日に彩りを添えます。



レイジブルー
原宿店

REJIBLU

原宿と渋谷の中間に位置し、名だたるショップのひしめく中、レイジブルーの旗艦店としてアンテナをはりながら、お客様と共に時代の気分を体現します。商業施設の集客に頼らない路面店という環境でブランドの可能性に挑戦することで、ブランド力構築の地盤を築きます。

エリア別各ブランド国内店舗数

2004年2月29日現在
(単位：店)

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	九州	計
レイジブルー	3	4	1	3	1	2	14
グローバルワーク	8	19	8	6	2	8	51
ローリーズファーム	7	30	13	14	6	11	81
ハレ	1	2	1	2	0	0	6
ヘザー	2	5	2	2	1	4	16
ジーナ시스	3	7	2	4	1	2	19
アグレア	2	1	1	0	0	0	4
ナインブロックス	1	1	3	1	0	1	7
計	27	69	31	32	11	28	198

〈当期のポイント②〉

増床・改装による既存店の活性化を推進いたしました。

31店舗の改装を実施



JEANASIS/原宿店



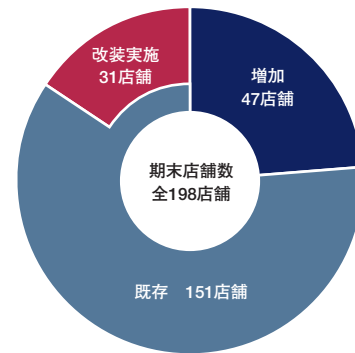
After

既存店の活性化のために、増床・移転を含む改装を31店舗において実施いたしました。当社は、既存店を取り巻く環境変化の他に、店舗そのものの経年劣化も大きく業績に影響すると考え、改装によるリフレッシュが有効と判断した場合は積極的に実施しております。ただし、近隣への商業施設新設や出店施設内のテナント構成の変更によっては存続が妥当でない場合もあり、改装に際しては継続的な環境変化のリサーチを前提としております。

改装による集客効果もあり、当期における既存店の売上高前期比は7.1%増、同客数では11.4%増となりました。

ブランド別改装店舗数

レイジブルー	RAGEBLUE	3店舗
グローバルワーク	GLOBAL WORK	8店舗
ローリーズファーム	LOWRYS FARM	19店舗
ジーナシス	JEANASIS free style clothes	1店舗



〈当期のポイント③〉

タイムリーな商品投入、物流機能の強化などにより、在庫が減少しました。

期末在庫前期比23.4%減

販売機会ロスの削減、在庫の高回転化のための継続的な取り組みとして、機動的な発注コントロール、ストック在庫出荷の頻度アップ、ベンダーとの関係強化などを推し進めました。さらに当期においては、福岡物流センターが通年で稼動したことにより、西日本地区の店舗においても

出荷翌日の納品が実現し、既存店売上前年比が東日本地区に比べて2.9%上回る結果となりました。来期においては、水戸センターに設置したソーターシステムにより、さらなる処理効率の向上を目指しております。



〈当期のポイント④〉

グローバルブランド化に向け台湾へ出店しました。

ローリーズファーム7店舗を出店

グローバルブランド化構築の基礎づくりとして、3月の台北一号店を皮切りに7店舗を出店いたしました。SARSの発生による4店舗め以降の出店計画延期や政情不安などがありましたが、順調な売上高を受けて店舗段階での利益を確保する

ことができました。期中において、体制整備のための人員追加や情報システムの追加開発などが発生したため、最終損益はマイナスとなりましたが、来期においては、店舗の通年稼動により最終利益を確保する計画です。



〈来期のポイント〉

基幹ブランドの育成、既存店の活性化、グローバル化の推進をさらに強化します。

中期経営計画の達成に向けて

出退店

来期の出退店計画は、グローバルワークを中心に新店47店舗、退店2店舗を見込んでおります。当期同様にスピーディーな出退店を実施し、安定成長の基盤となる基幹ブランド体制構築を推進いたします。

既存店改装

改装については、既存店の活性化を目的としてローリーズファームを中心に当期同様の30店舗程度を計画しております。改装は、お客様にとって新鮮な店舗であり続けるための重要な施策のひとつと考え、積極的に実施してまいります。

海外展開

昨年、ブランドのグローバル化のスタートとして出店した台湾においては、ローリーズファーム3店舗を新規出店し、情報システムや物流体制の整備、現地要員のスキル強化も推進しながら、最終利益確保を計画しております。

3カ年中期経営計画における目標数値[単体]

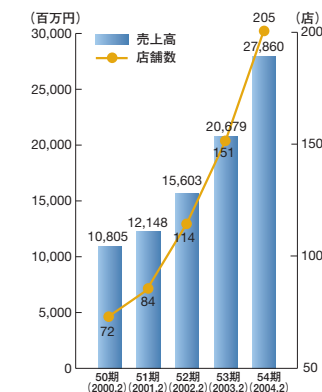
	2004年2月期実績	2005年2月期計画	2006年2月期における目標
売上高	27,619 百万円 (対前期伸び率：33.6%)	32,147 百万円 (対当期伸び率：16.4%)	36,000 百万円 (3カ年伸び率：75.6%)
営業利益	4,252 百万円 (対前期伸び率：50.3%)	4,933 百万円 (対当期伸び率：17.9%)	5,600 百万円 (3カ年伸び率：99.3%)
経常利益	4,235 百万円 (対前期伸び率：52.0%)	4,900 百万円 (対当期伸び率：15.7%)	5,500 百万円 (3カ年伸び率：97.8%)
当期純利益	2,253 百万円 (対前期伸び率：47.5%)	2,629 百万円 (対当期伸び率：16.7%)	3,000 百万円 (3カ年伸び率：99.5%)

5年間の業績推移[連結]

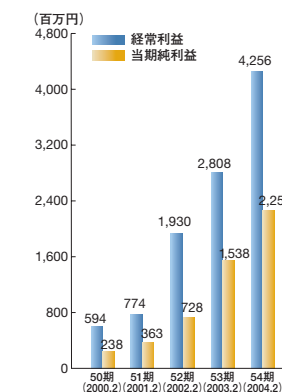
	50期 (2000年2月)	51期 (2001年2月)	52期 (2002年2月)	53期 (2003年2月)	54期 (2004年2月)
売上高 (百万円)	10,805	12,148	15,603	20,679	27,860
経常利益 (百万円)	594	774	1,930	2,808	4,256
当期純利益 (百万円)	238	363	728	1,538	2,256
総資産 (百万円)	5,650	6,330	7,821	12,260	17,777
株主資本 (百万円)	1,190	1,848	2,545	5,864	10,034
店舗数 (店)	72	84	114	151	205
1株当たり当期純利益 (円)	1,508.07	110.77	195.72	194.62	163.55
1株当たり株主資本 (BPS) (円)	7,510.81	503.99	683.03	687.54	703.23
総資産当期純利益率 (ROA) (%)	4.3	6.1	10.3	15.3	15.0
株主資本利益率 (ROE) (%)	22.9	23.9	33.2	36.6	28.4

※2000年7月4日付をもって、1,000円額面株式1株を50円額面株式20株に分割しております。

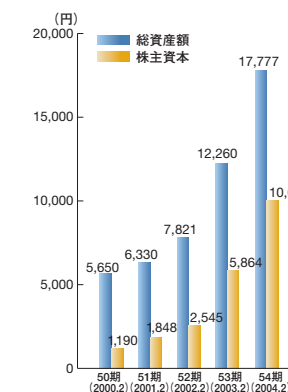
▶ 売上高・店舗数



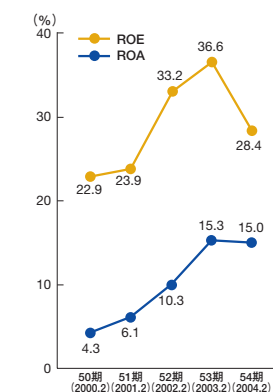
▶ 経常利益・当期純利益



▶ 株主資本・総資産



▶ ROE・ROA



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

科目	期別	当 期		科目	期別	当 期	
		(2004年2月29日現在)	(2003年2月28日現在)			(2004年2月29日現在)	(2003年2月28日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産				I 流動負債			
1. 現金及び預金		8,076,017	4,298,502	1. 支払手形及び買掛金		3,546,016	2,967,266
2. 売掛金		1,355,441	731,370	2. 短期借入金		289,112	416,043
3. 有価証券		499,972	10,116	3. 未払金		1,255,449	747,811
4. たな卸資産		1,227,239	1,553,958	4. 未払法人税等		1,263,139	866,312
5. 繰延税金資産		397,364	238,305	5. 賞与引当金		334,400	127,631
6. その他		113,638	242,633	6. その他		79,011	15,646
7. 貸倒引当金		△ 29,000	△ 13,818	流動負債合計		6,767,128	5,140,711
流動資産合計		11,640,673	7,061,069	II 固定負債			
II 固定資産				1. 社債		500,000	500,000
1. 有形固定資産		1,270,530	1,253,092	2. 長期借入金		315,578	598,054
2. 無形固定資産		77,463	67,487	3. 役員退職慰労引当金		160,583	156,719
3. 投資その他の資産				固定負債合計		976,161	1,254,773
投資有価証券		62,085	66,269	負債合計		7,743,289	6,395,484
保証金敷金		4,200,524	3,421,194	(資本の部)			
繰延税金資産		101,894	100,956	I 資本金		—	1,383,411
その他		471,658	337,691	II 資本準備金		—	1,242,225
貸倒引当金		△ 47,000	△ 47,519	III 連結剰余金		—	3,238,826
投資その他の資産合計		4,789,163	3,878,593	IV その他有価証券評価差額金		—	1,725
固定資産合計		6,137,158	5,199,173	V 為替換算調整勘定		—	△ 927
				VI 自己株式		—	△ 502
				資本合計		—	5,864,758
資産合計		17,777,832	12,260,242	I 資本金		2,446,940	—
				II 資本剰余金		2,304,754	—
				III 利益剰余金		5,283,982	—
				IV その他有価証券評価差額金		6,201	—
				V 為替換算調整勘定		△ 2,446	—
				VI 自己株式		△ 4,889	—
				資本合計		10,034,542	—
				負債及び資本合計		17,777,832	12,260,242

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科目	期別	当 期	
		(2003年3月1日から 2004年2月29日まで)	(2002年3月1日から 2003年2月28日まで)
I 売上高		27,860,450	20,679,463
II 売上原価		11,817,152	9,029,546
売上総利益		16,043,298	11,649,916
III 販売費及び一般管理費		11,745,275	8,790,166
営業利益		4,298,023	2,859,750
IV 営業外収益		22,505	16,677
V 営業外費用		64,154	67,880
経常利益		4,256,373	2,808,547
VI 特別利益		7,601	58,764
VII 特別損失		255,531	123,975
税金等調整前当期純利益		4,008,442	2,743,336
法人税、住民税及び事業税		1,914,780	1,288,979
法人税等調整額		△ 163,232	△ 84,092
当期純利益		2,256,895	1,538,449

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科目	期別	当 期	
		(2003年3月1日から 2004年2月29日まで)	(2002年3月1日から 2003年2月28日まで)
I 営業活動による キャッシュ・フロー		3,772,520	2,235,197
II 投資活動による キャッシュ・フロー		△ 1,366,884	△ 1,705,232
III 財務活動による キャッシュ・フロー		1,534,947	1,942,613
IV 現金及び現金同等物 に係る換算差額		282	△ 927
V 現金及び現金同等物 の増減額		3,940,865	2,471,651
VI 現金及び現金同等物 の期首残高		3,993,618	1,521,967
VII 現金及び現金同等物 の期末残高		7,934,484	3,993,618

■ 連結剰余金計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科目	期別	当 期	
		(2003年3月1日から 2004年2月29日まで)	(2002年3月1日から 2003年2月28日まで)
I 連結剰余金期首残高		—	1,768,269
II 連結剰余金減少高		—	67,892
III 当期純利益		—	1,538,449
IV 連結剰余金期末残高 (資本剰余金の部)		—	3,238,826
I 資本剰余金期首残高		1,242,225	—
II 資本剰余金増加高		1,062,529	—
III 資本剰余金期末残高 (利益剰余金の部)		2,304,754	—
I 利益剰余金期首残高		3,238,826	—
II 利益剰余金増加高		2,256,895	—
III 利益剰余金減少高		211,740	—
1. 配当金		153,540	—
2. 役員賞与 (うち監査役賞与)		58,200	—
		(1,200)	—
IV 利益剰余金期末残高		5,283,982	—

単体財務諸表

■ 単体貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期 (2004年2月29日現在)	前期 (2003年2月28日現在)
(資産の部)			
I 流動資産		11,569,932	6,988,809
II 固定資産		6,166,782	5,238,557
1.有形固定資産		1,259,808	1,250,182
2.無形固定資産		76,116	66,467
3.投資その他の資産		4,830,858	3,921,906
資産合計		17,736,714	12,227,367
(負債の部)			
I 流動負債		6,751,336	5,131,572
II 固定負債		976,161	1,254,773
負債合計		7,727,497	6,386,345
(資本の部)			
I 資本金		1,383,411	1,383,411
II 資本準備金		1,242,225	1,242,225
III 利益準備金		16,652	16,652
IV その他の剰余金		3,197,509	3,197,509
V その他有価証券評価差額金		1,725	1,725
VI 自己株式		△ 502	△ 502
資本合計		5,841,022	5,841,022
I 資本金		2,446,940	2,446,940
II 資本剰余金		2,304,754	2,304,754
III 利益剰余金		5,256,210	5,256,210
IV その他有価証券評価差額金		6,201	6,201
V 自己株式		△ 4,889	△ 4,889
負債及び資本合計		17,736,714	12,227,367

■ 単体損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期 (2003年3月1日から 2004年2月28日まで)	前期 (2002年3月1日から 2003年2月28日まで)
I 営業収益		27,619,333	20,679,092
II 営業費用		23,366,856	17,849,597
営業利益		4,252,477	2,829,494
III 営業外収益		38,015	25,017
IV 営業外費用		55,002	67,803
経常利益		4,235,490	2,786,708
V 特別利益		7,578	56,824
VI 特別損失		255,531	123,155
税引前当期純利益		3,987,537	2,720,378
法人税、住民税及び事業税		1,890,167	1,273,080
法人税等調整額		△ 156,417	△ 80,899
当期純利益		2,253,787	1,528,197
前期繰越利益		76,489	60,031
当期末処分利益		2,330,277	1,588,229

■ 利益処分計算書 (要旨)

(単位：円)

科目	期別	当期
当期末処分利益		2,330,277,442
利益処分量		2,150,478,000
利益配当金 (1株につき20円)		283,478,000
取締役賞与金		67,000,000
別途積立金		1,800,000,000
次期繰越利益		179,799,442

(注) 利益配当金には、自己株式4,500株分の配当金を除いてあります。

利益配当について

利益配当に対する基本方針は、安定した配当を維持しながら、かつ業績の進展状況を考慮し、適正な利益配分に取り組んでいく方針です。当期末の利益配当金につきましては、前期に引き続き増収増益が達成できたこと、および東証一部上場を記念いたしまして、1株につき15円の普通配当金に5円の上場記念配当を加え、1株につき20円の配当を行います。

トピックス

公募増資の実施、東証一部上場、株式の分割を実施

公募増資の実施

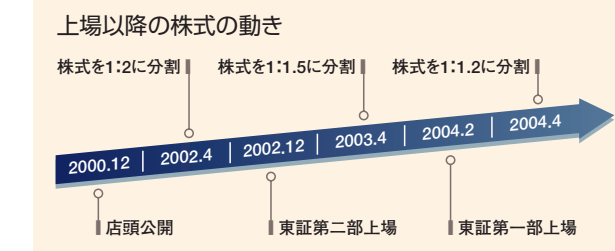
平成15年9月に100万株の公募増資を実施し、20億円以上の資金調達ができました。株主様からお預かりしましたこの資金は、今後の事業展開に有効に活用させていただきます。

東証一部に上場

平成12年12月の店頭上場、平成14年12月の東証二部上場。そして平成16年2月には東証一部に上場させていただきました。これもひとえに皆様のご支援のおかげです。引き続きさらなる成長に向け、全社をあげて取り組んでまいります。

株式分割を実施

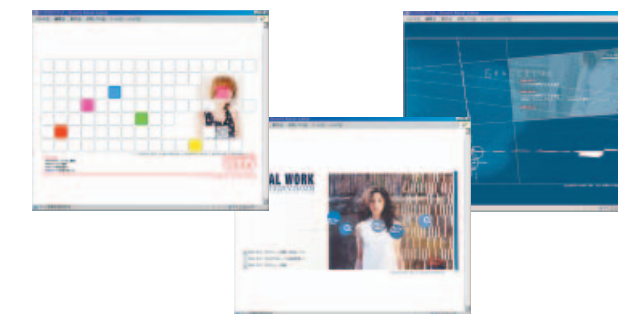
期末現在の株主様を対象に1:1.2の株式無償分割を実施しました。その結果発行済株式総数は2,835千株増加し、17,014千株となりました。今後も株主様の価値向上を図ってまいります。



各ブランドのWEBサイトをアップ

当社の情報をお伝えする代表サイト (<http://www.point.co.jp>) に加え、当期においてはローリーズファーム、グローバルワーク、レイジブルーの各ブランドのサイトを立ち上げました。よりお客様に近い情報を、スピーディーに更新することをモットーに管理・活用してまいります。

- ローリーズファーム  <http://www.lowrysfarm.jp>
- グローバルワーク  <http://www.globalwork.jp>
- レイジブルー  <http://www.rageblue.jp>



会社概要

2004年2月29日現在

- 会社名 株式会社ポイント
- 本部 東京都墨田区両国3-21-1 グレイスビル両国
- 代表電話 03-5624-6011
- 設立 1953年10月
- 資本金 2,446,940千円(2004年2月29日現在)
- 代表者 代表取締役社長 黒田 博
- 事業内容 カジュアルウェア専門店チェーン
- 事業所 水戸本店 東京本部
店舗数 198店舗
- 主要取引銀行 東京三菱銀行 常陽銀行
- 社員数 正社員531名(男181/女350)
※この他、子会社への出向者が10名あります。
- 平均年齢 26.8歳

連結子会社

- 会社名 株式会社ボジック
- 資本金 10百万円
- 当社の議決権比率 100%
- 主な事業内容 当社取扱商品の物流業務
- 事業所 水戸物流センター 福岡物流センター

- 会社名 波茵特股份有限公司
- 資本金 10百万台湾ドル
- 当社の議決権比率 100%
- 主な事業内容 台湾における衣料販売業務
- 事業所 台北本部
店舗数 7店舗

役員

2004年5月26日現在

- 代表取締役会長 福田 三千男
- 代表取締役社長 黒田 博
- 常務取締役(営業本部長) 石井 稔 晃
- 常務取締役(管理本部長) 遠藤 洋 一
- 取締役(開発室担当) 勝山 章 廣
- 取締役(情報システム室担当) 時松 克 治
- 取締役(内部監査室長) 日野 力
- 取締役(グローバルワーク担当部長) 櫻井 健 一
- 監査役(常勤) 新名 宏 志
- 監査役 横山 哲 郎
- 監査役 前川 渡 惇
- 監査役 高橋 惇 役

株式の状況

2004年2月29日現在

会社が発行する株式の総数…………… 50,000,000株
発行済株式総数…………… 14,178,400株
株主数…………… 1,975名

大株主

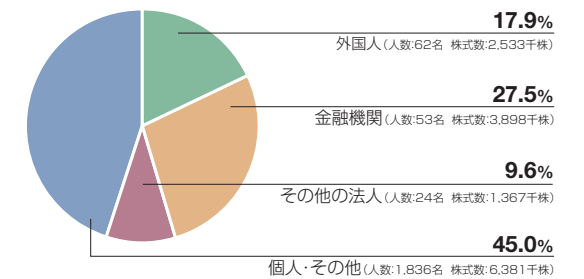
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
福田三千男	3,545,800	25.00
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,725,500	12.16
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,264,500	8.91
有限会社テツカンパニー	1,263,600	8.91
ゴールドマンサックス インターナショナル	566,900	3.99
ポイント従業員持株会	404,108	2.85
モルガンスタンレーアンド カンパニーインク	246,400	1.73

株式分割の推移

年月は割当日ベース

2002年4月…………… 1:2
2003年4月…………… 1:1.5
2004年4月…………… 1:1.2

所有者別株式数分布状況



株価の推移

